

ご注意
ください

ハードディスクの空き容量を確保する。

- まずは不要なファイルを保存していないか確認を！
- 情報機器の管理者・担当部署へ相談してみることが先決。

空き容量が減る訳は...？

■対象となる“お困りの方々”

これをお読みの方々のほとんどは、マイクロソフト社製のOSであるウィンドウズ (XP/ Vista/ 7) をご利用のことと思います。まだ、98/Me や 2000をご利用の方もいるかも知れませんね。というわけで、今回はウィンドウズ・ユーザーを対象に、ハードディスクの空き容量を (少しでも) 確保する知恵をお教えます。

■パソコンを快適に使うための心遣いなのですが...

ウィンドウズだけでなく、パソコンを利用するためのインターフェースである OS (オペレーティング・システム) は、利用者が快適に、かつ安全に使えるように、あらゆる場面で世話を焼いています。もちろん、普段もっともお世話になっているブラウザやオフィス・ソフトなどでも同じです。例えばこんなふうに...

- ① 一度見ただけのウェブサイト。ひょっとするとまた見るかもしれない... 速く表示できるようにしておこう！
- ② ソフトのインストールなんてしちゃってるけど、あとで困ったことになったら大変だ... 設定を戻せるようにバックアップしておこう！
- ③ ファイルの編集中にやり直したいこともあるだろうな... 編集作業の記録を取っておいて戻せるようにしておこう！

この「○○しておこう！」の後ろには、「ハードディスクにファイルを作って。」というフレーズが隠れていることにお気づきでしょうか？

こうした日常的な作業において意識しないうちにハードディスクの空き容量を減らし続けているということがお分かりいただけたところで、空き容量を確保する代表的な方法をご紹介します。お手軽さと効果に★を付けておきます。

1. ブラウザの一時ファイルを削除する (★★★)

インターネットエクスプローラ (以下、IE) に代表されるウェブブラウザすべてが共通でもつ機能のひとつが、「キャッシュ機能」です。閲覧速度を向上するためのものですが、なくても困ることはありません。IEを例にとります。

ツール> インターネットオプション> 全般タブの閲覧の履歴から削除ボタンを押すと、削除対象を選択する画面が表示されますので、“インターネット一時ファイル”を選択してOKボタンを押してください。場合によっては百MB単位で容量を確保することができますよ。MacOSXの方も、FirefoxやSafariといったブラウザで手順こそ違いますが有効な手段です。

2. ディスククリーンアップツールを使用する (★★)

ソフトのインストールや設定の変更など、OSへの変更が行われた結果、不都合があった場合に直前の設定を自動で保存しています。これはウィンドウズXP以降に標準で搭載されています。

具体的な操作方法については、マイクロソフト社ホームページのサポートがわかりやすく示していますのでご覧ください。

Windows 7 の場合

<http://www.microsoft.com/japan/athome/magazine/windows/tips/273.aspx>

Windows XP の場合

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;310312>

3. 不要なソフトを削除する (★★)

あまりないかも知れませんが、最初からインストールされているソフトの中には体験版なども少なくありません。今まで使ったことがなかったり、“体験版”という文字を見つけたら試してみてください。その前に気付かずに使っていないか再確認を！

Windows 7 の場合

スタート> コントロールパネル> プログラム (プログラムのアンインストール)

Windows XP の場合

スタート> コントロールパネル> プログラムの追加と削除

4. その他 (★)

ベクターや窓の杜などのウェブサイトには、自力でハードディスクの空き容量を確保したい方向けのソフトがたくさんあります。代表的で安全なものとしては、フォルダ単位でハードディスクの使用量 (あるいはパーセンテージ) を表示するものがあります。むやみやたらと消すわけにはいきませんが、普段の使い方を省みるよい機会と捉えてみてはいかがでしょうか。

なお、以上の作業を行うにあたって権限がない場合もあります。情報機器の管理者・部署へ事前にご相談ください。